

平成 28 年度

学校自己評価
及び

学校関係者評価報告書

学校法人つくば文化学園
つくば国際ペット専門学校

(1) 教育理念・目標

評価項目 (適切-4 ほぼ適切-3 やや不適切-2 不適切-1)	自己評価	学校関係者評価
学校の理念・目的は定められているか	4	4
理念・目的・育成人材像・特色などが生徒・保護者に周知されているか	3	3
各コースの教育目標・育成人材像は業界や社会のニーズに向けて方向づけられているか	4	4
課題 学校の特色の周知は機会・浸透度とも良好であるが、教育理念や学校の目的についての周知は機会・方法とも工夫の余地を残す。		
今後の改善方策 オープンキャンパス等での紹介や、各行事などの挨拶や掲示物、印刷物を有効に活用し周知、浸透を図る。		
学校関係者評価委員会での意見 教育理念や目的は、分かりやすい言葉で学生に説明し、時流に合わせた具体的な例を上げるなどして、理解度を上げたい。		
特記事項 なし		

(2) 学校運営

評価項目 (適切-4 ほぼ適切-3 やや不適切-2 不適切-1)	自己評価	学校関係者評価
目的等に沿った運営方針が策定されているか	3	4
運営方針に沿った事業計画が策定されているか	3	3
教務・財務等の組織整備など意志決定システムは整備されているか	4	4
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4	4
教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4	4
課題 学校運営やコンプライアンス体制は適切であるが、具体的な方針策定が課題である。		
今後の改善方策 入学対象年齢の減少による生徒減少に備え、選ばれる学校作りを目指し、組織の整備を行う。より細かい事業計画の策定により業界や地域社会との関係強化を目指す。		
学校関係者評価委員会での意見 安定した学校運営であるが、業界との双方向の情報共有も積極的に進め、より強固な関係作りを目指して行きたい。		
特記事項 なし		

(3) 教育活動

評価項目 (適切-4 ほぼ適切-3 やや不適切-2 不適切-1)	自己評価	学校関係者評価
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4	4
コース等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4	4
実践的な職業教育のためのカリキュラムや教育方法の工夫・開発が実施されているか	3	4
インターンシップなどの実践的な職業教育が体系的に位置づけられているか	4	4
授業評価の実施・評価体制はあるか	3	3
成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4	4
資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4	4
人材育成目標の達成に向け要件を備えた教員を確保しているか	4	4
職員の能力開発のための研修等が行われているか	3	3
課題 教育方法の工夫・開発や職員の能力開発については、組織的に取り組んでいるが、未だ各教員に依存している部分が多く、研修等にあてる時間的余裕の創出が必要。		
今後の改善方策 カリキュラムの編成は教育課程編成委員会を中心として常に改善されるようになっている。また、各授業内での工夫などは教員間のミーティングや会議の開催などで情報を共有し、積極的に取り組んでいる。外部による授業評価体制の充実に取り組みたい。		
学校関係者評価委員会での意見 パートナーシップを中心とした独自のスタイルとカリキュラムは資格試験の合格率や技能の習熟度の高さに現れている。同時に社会に通用する人間作りを念頭に置き、人材育成を担う教職員の評価体制の整備と能力開発環境の実現が課題である。		
特記事項 なし		

(4) 学修成果

評価項目 (適切-4 ほぼ適切-3 やや不適切-2 不適切-1)	自己評価	学校関係者評価
就職率の目標を設定しているか	4	4
就職率の向上が図られているか	4	4
退学率の低減が図られているか	4	4
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3	3
卒業生のキャリア形成の状況を把握し教育活動の改善に活用されているか	3	3

<p>課題</p> <p>卒業生の支援として就職相談窓口を開設し、企業内での卒業生の状況や問題点などを把握できる体制を取っているが、効率的な運用には告知・案内などの課題を残す。</p>
<p>今後の改善方策</p> <p>卒業生支援策としてイベント(求人票の開示、就職イベントへの招待、座談会など)を開催し、積極的な情報発信を行いたい。また、担任ベースの相談や支援の機会は継続して行きたい。</p>
<p>学校関係者評価委員会での意見</p> <p>退学率低減を狙った校内イベントは大きな効果が出ている。今後は、経済的な支援も可能になるような取り組みを検討したい。</p>
<p>特記事項</p> <p>なし</p>

(5) 学生支援

評価項目 (適切-4 ほぼ適切-3 やや不適切-2 不適切-1)	自己評価	学校関係者評価
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4	4
学生相談に関する体制は整備されているか	3	4
学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	3	3
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4	3
学生の生活環境への支援は行われているか	4	4
保護者と適切に連携しているか	4	3
卒業生への支援体制はあるか	4	3
<p>課題</p> <p>日常の学生相談の窓口として担任や担当職員があたっている。職員間の情報共有により複数教員で対応する事例もあり、専門的な知識を要求される場面もある。保護者との連携においては、家庭側の協力をもらいながら更に強い関係にして行きたい。</p>		
<p>今後の改善方策</p> <p>学生相談窓口は学生にとって気楽に尋ねられる雰囲気作りが必要である。保護者との連携については、面談やSNSの利用も検討し、情報共有に努めたい。</p>		
<p>学校関係者評価委員会での意見</p> <p>多様化する学生の気質や家庭環境に対応できるよう柔軟な対応が必要である。対応する職員の資質に依るところが大きく、負担にもなりかねない。</p>		
<p>特記事項</p> <p>なし</p>		

(6) 教育環境

評価項目 (適切-4 ほぼ適切-3 やや不適切-2 不適切-1)	自己評価	学校関係者 評価
施設・設備は教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	3
学内以外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について教育体制を整備しているか	4	4
防災に対する体制は整備されているか	4	3
<p>課題 施設、実習、研修に関する環境は体制的に整えているが、定期のメンテナンスなどが必要となっている箇所がある。 防災については、物資の備蓄などが課題である。</p>		
<p>今後の改善方策 海外研修はより多くの学生が参加できる仕組みやサポート体制(分納制度など)を整えたい。 防災についてはグループ企業との連携をする。</p>		
<p>学校関係者評価委員会での意見 施設の修繕を計画的に行っている。設備等も計画的に整備し、教育環境を維持したい。</p>		
<p>特記事項 なし</p>		

(7) 学生募集と受け入れ

評価項目 (適切-4 ほぼ適切-3 やや不適切-2 不適切-1)	自己評価	学校関係者 評価
学生募集活動は適正に行われているか	4	4
学生募集活動において教育成果は正確に伝えられているか	4	4
学納金の設定は妥当か	4	4
オープンキャンパス等の開催時期・内容は適切か	4	4
定員の設定と定員充足率はどうか	4	4
<p>課題 学生募集は印刷物、SNS、広報活動などが一体となり当校の特色や教育成果などが伝わっている。 高校生やその家庭に十分理解してもらえるシンプルな仕組み作りが課題である。</p>		
<p>今後の改善方策 学校の特色や雰囲気、実績などを統一された情報として積極的に発信している。新しいものを随時検討し導入して行きたい。</p>		
<p>学校関係者評価委員会での意見 安定した学生募集を続けていて安心である。定員拡張と同時に、学生の質を向上させる取り組みが必要である。</p>		

特記事項 なし

(8) 財務

評価項目 (適切-4 ほぼ適切-3 やや不適切-2 不適切-1)	自己評価	学校関係者 評価
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	4
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	4
財務について会計監査が適切に行われているか	4	4
財務情報公開の体制整備はできているか	4	4
課題 財務状況は安定していて計画も適正である。 施設、設備の維持のための予算取りが必要である。		
今後の改善方策 安定経営をさらに続けて行く努力を継続する。 継続的に規程による財務情報公開を実施して行く。		
学校関係者評価委員会での意見 学生の日常の学習、学生募集活動に寄与する安定した財務状況が継続されている。施設・設備の整備については継続的な予算化が必要である。		
特記事項 なし		

(9) 法令等の遵守

評価項目 (適切-4 ほぼ適切-3 やや不適切-2 不適切-1)	自己評価	学校関係者 評価
法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	4
個人情報に関し、その保護のための対策が取られているか	3	3
自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	3	4
自己評価結果を公開しているか	4	4
課題 自己評価と学校関係者評価を実施している。個人情報に関しては、特定の職員が情報を扱うなど十分注意をしているが、専門の部署や設備を設置するなどの万全の対策と最新知識の修得が課題である。		
今後の改善方策 法令や設置基準について更なる理解と適切な認識が必要である。専門職員による職員教育も必要な取り組みである。		

学校関係者評価委員会での意見

自己評価と情報公開を継続して実施し、全職員が自覚を持って真摯に取り組んでいきたい。

特記事項

なし